

愛する人が殺されたら

—復讐の相手—



とうごう じゅん

田舎道を、人々がノンビリと歩いています。



一人の女性が道端に落ちているメガネを拾いました。



キヤー！

どうしたというのでしょうか？ 拾ったメガネを掛けた女性は、強いショックを受けました。



グルルルル 殺す、殺す、殺す…



ああ、大変！！ 人が殺されてしまいました。

突然、子供を殺されてしまったのです。お父さんは、とても怒りました。

貴様、俺の子に何をするんだ!?



グルルルル...



ああ、また人が殺されてしまいました。

それから幾日かが過ぎました。



一人の男性が道端に落ちているメガネを拾いました。



どうしたというのでしょうか？ メガネを掛けた男性は、強いショックを受けました。



グルルルル 殺す、殺す、
殺す…

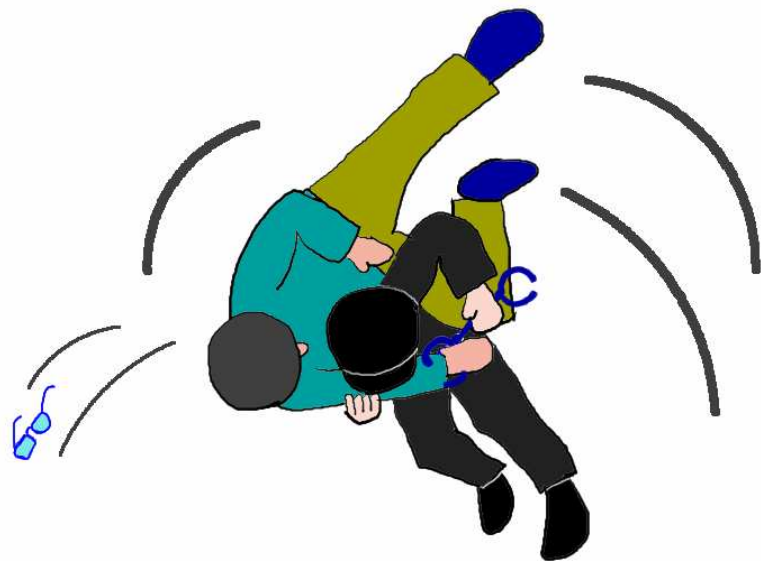


ああ、また人が殺されてしまいました。

警察が駆けつけました。



殺人者はすぐに逮捕されました。



そして、裁判が開かれました。



殺された女の子には、お母さんがいます。彼女は、必死に裁判官に訴えました。

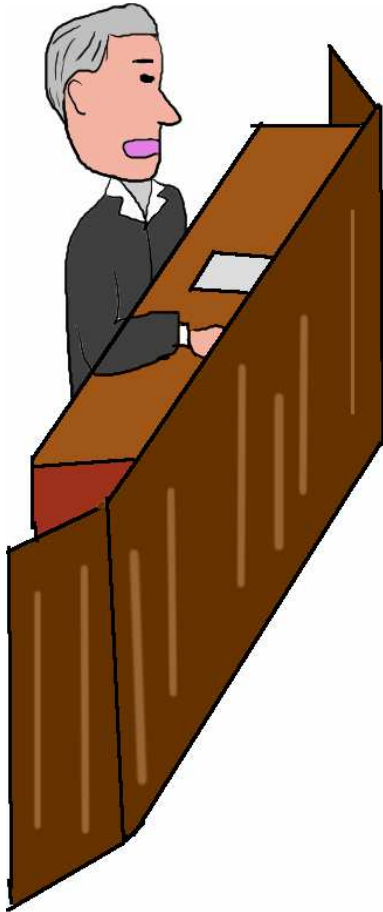


あいつを死刑にしてください！ 被害者は何の罪もない小さな子どもです。私の娘は、この男に残虐に殺されたのです！



裁判の判決が出ました。

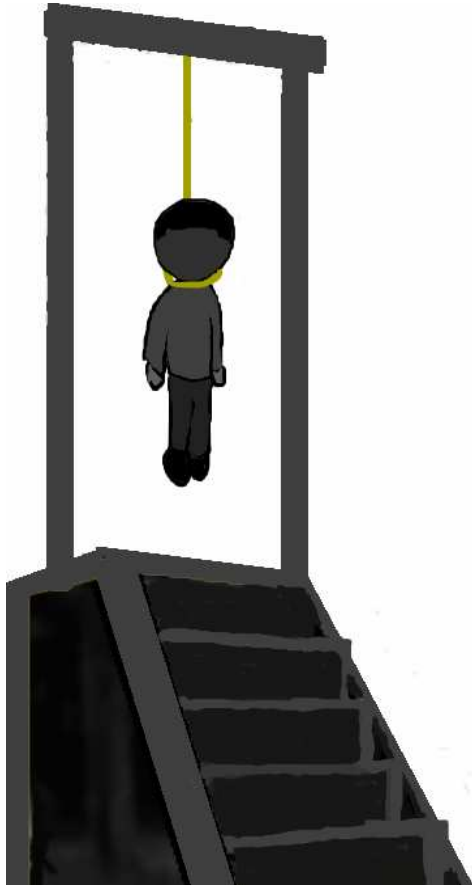
被告人を死刑に処す



やったー！！ 万歳！！



そしてある日、死刑が執行されました。



復讐よ！
これこそ、正義だわ。



ああ、また人が殺されてしまいました。

さて、メガネが落ちている田舎道です。人々は殺人事件があったことも忘れて、ノンビリと歩いています。



一人の女性が道端に落ちているメガネを拾いました。

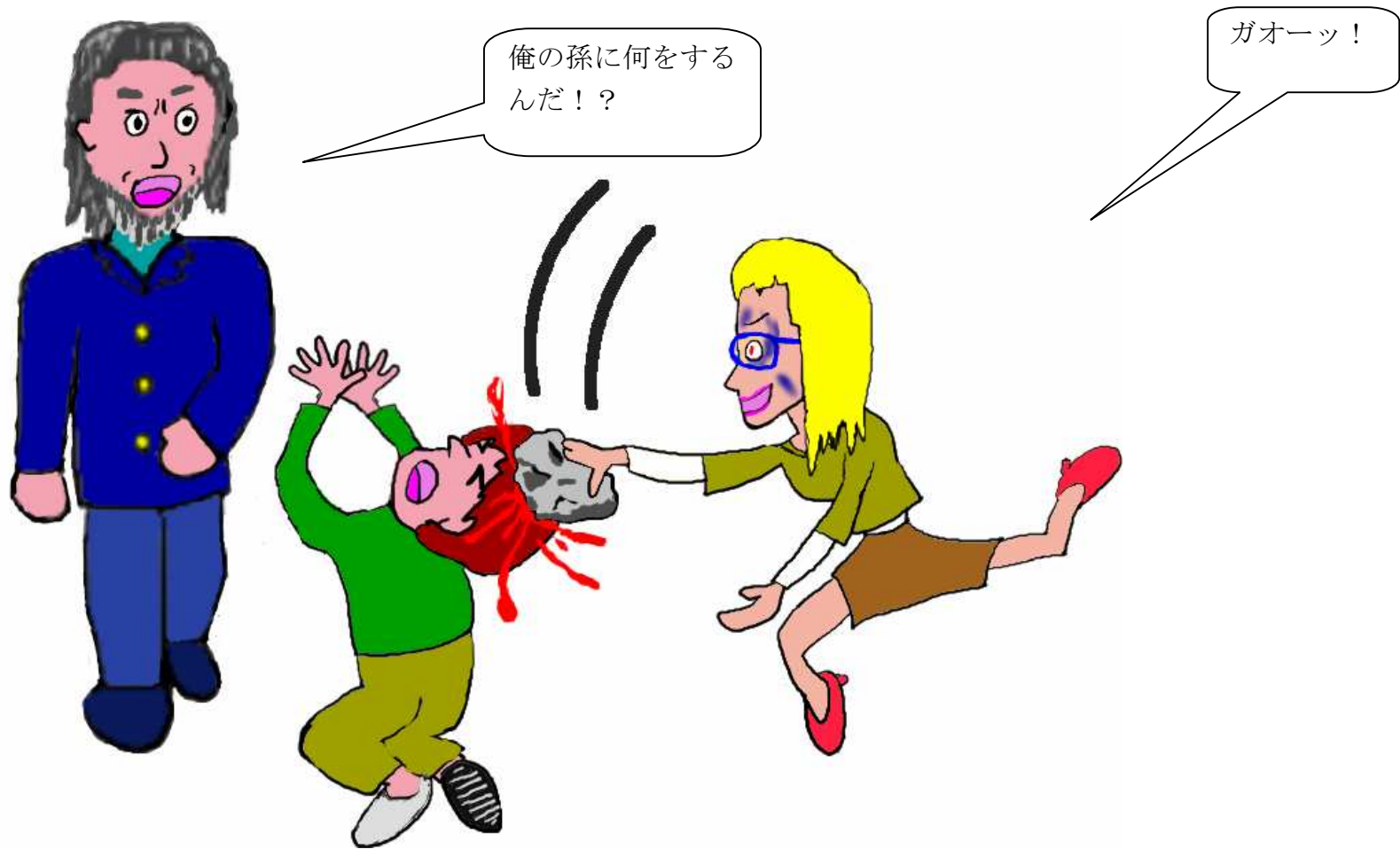


キヤー!

どうしたというのでしょうか？ メガネを掛けた女性は、強いショックを受けました。



グルルルル 殺す、殺す、殺す...



ああ、また人が殺されてしまいました。

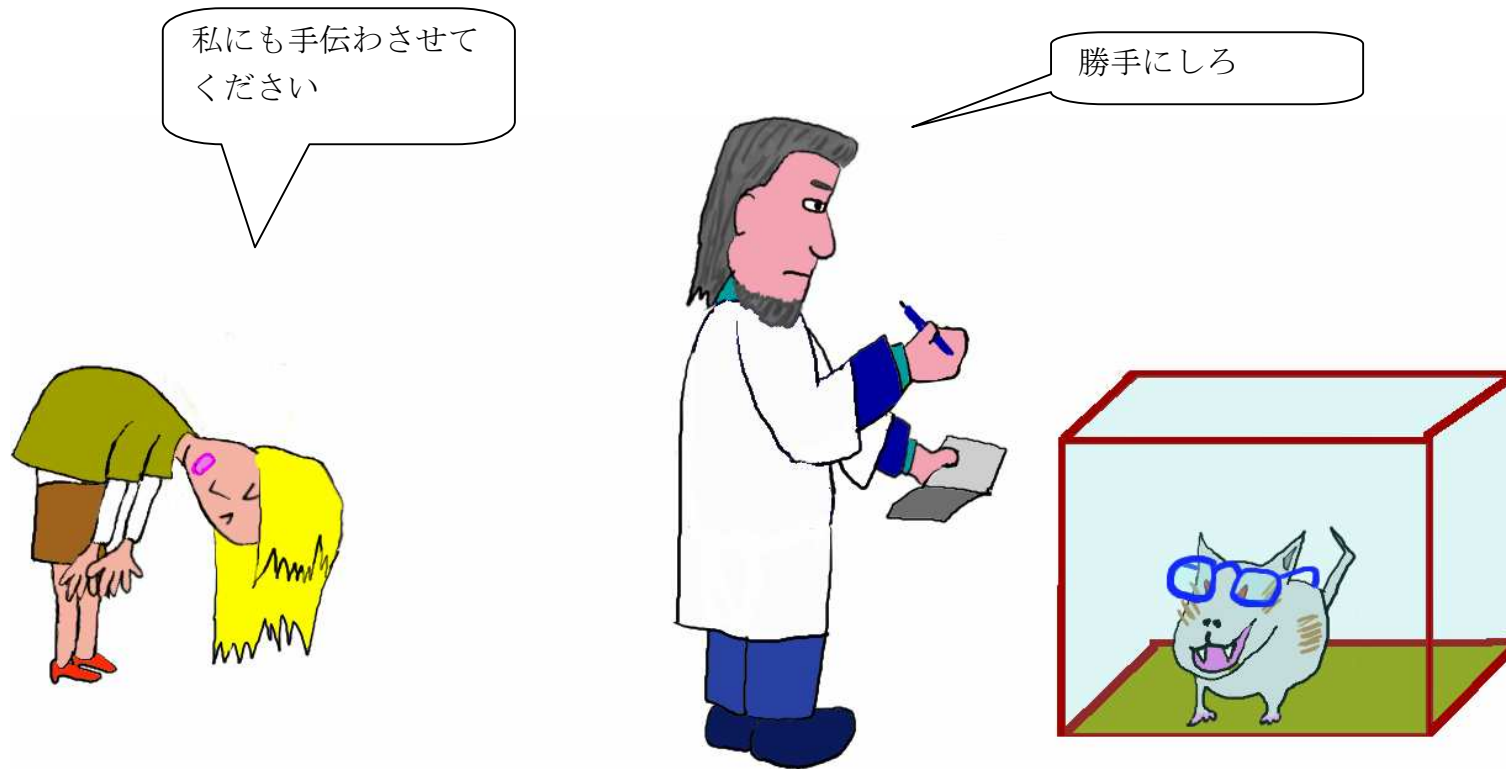
突然、孫を殺されてしまったのです。お爺さんは、とても怒りました。

なんで殺したんだ!?

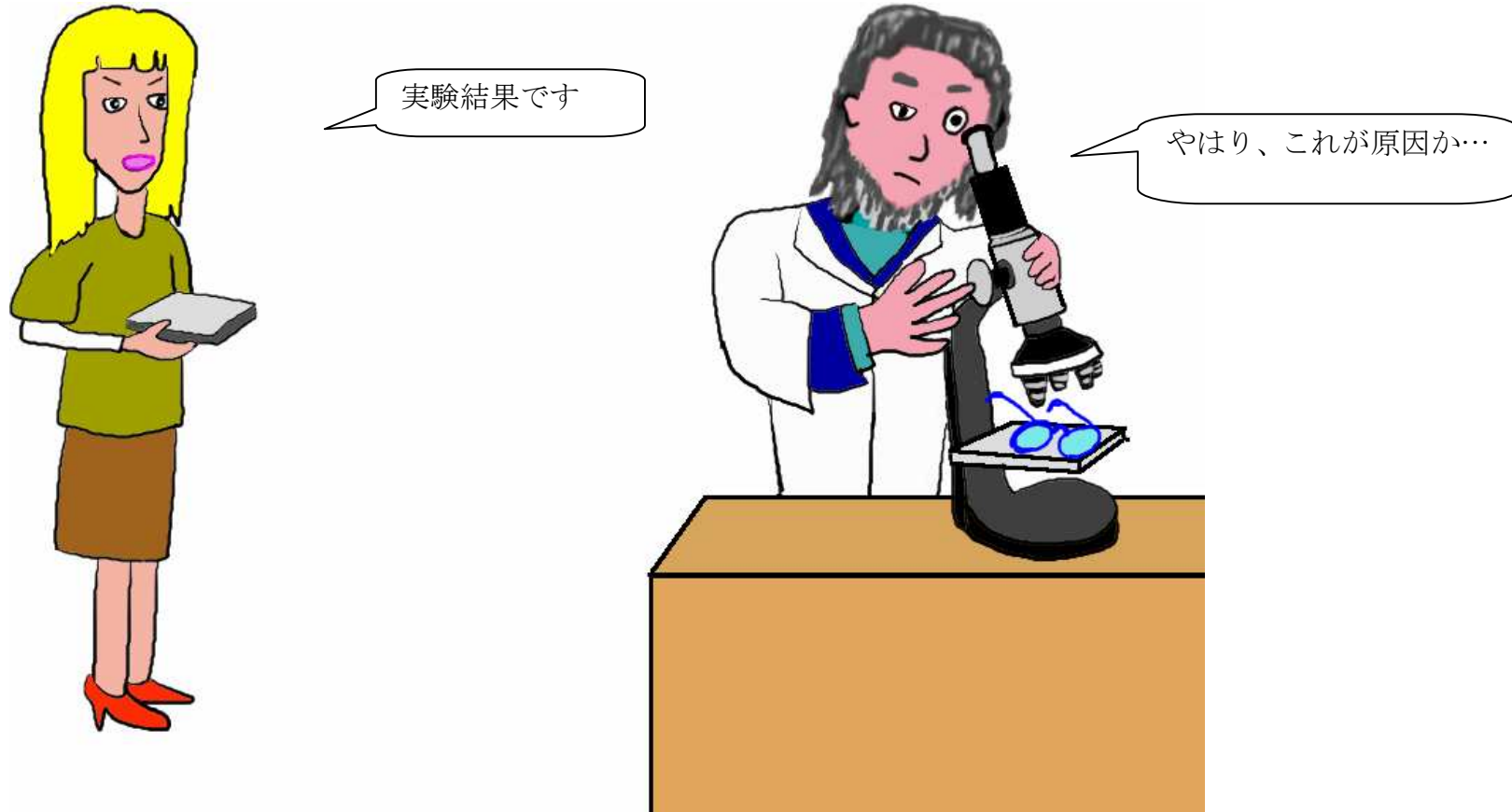


ごめんなさい。
あ、あのメガネをかけたら、急に殺さなきゃいけないって、思って

おじいさんは、復讐心に燃えて、殺人の動機・原因を究明することとしました。



おじいさんと加害者の女性は、メガネを徹底的に調べあげました。



間違い有りません。このメガネこそが、連続殺人事件の原因です。

おじいさんは怒りに燃えて、殺人の原因に復讐しました。



その後、人が殺されることは有りませんでした。



ねえ、あなた。もし愛する人が殺されたら、

復讐は、**人**にしますか？

原因にこそ、復讐したくは無いですか？

あとがき ー絵本「愛する人が殺されたら」

誤解しないでいただきたいのですが、罰を悪だと言っているわけではありません。
被害者の怒りや復讐心を悪だと言っているのでもなければ、許しを善だと主張しているのでもありません。

しかしながら、もし善悪の錯覚によって、加害者を罰し、傷つける以外の手段が見えないままに、延々と犯罪の原因を放置してしまっただら、それは善悪中毒の症状の1つかも知れません。（善悪中毒については、弊著「善悪中毒」をご参照ください。）

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009